

学校法人シモゾノ学園

国際動物専門学校基本情報

1 はじめに

共に生き、共に学ぶ ―生き物を愛する想い―
学校法人シモゾノ学園理事長 下菌恵子

2 学園の概要

- ① 学園の誕生
- ② 教育理念
- ③ 教育方針

3 国際動物専門学校の概要

- ① 学校のあゆみ
- ② 学校の所在地
- ③ 姉妹校の所在地

4 学科の概要

- ① 各学科の概要
- ② 各学科の育成人材像
- ③ 各学科の取得可能な資格
- ④ 各学科の卒業後の進路

5 キャリア教育について

6 教育活動

7 学生概況

- ① 学納金
- ② 入学者数
- ③ 退学率
- ④ 進級及び卒業評価判定基準
- ⑤ 教育環境
- ⑥ 就職率
- ⑦ 学生の生活支援、修学支援

8 教職員数

9 学園の財務状況

- ① 資金収支計算書
- ② 貸借対照表



学校法人 シモンノ学園

国際動物専門学校

International Animal Health & Management Collage

1 はじめに

共に生き、共に学ぶ ー生き物を愛する想いー

学校法人シモゾノ学園は、1956年創業の青山ケンネルに起源をもつ動物系職業人養成の専修学校であり、東京都世田谷区に「国際動物専門学校」、埼玉県さいたま市に「大宮国際動物専門学校」の2校を開校、総学生数920名の全てが動物系のプロフェッショナルを目指し、動物に関する深い知識と高い技術の修得に励んでいます。

愛玩動物から家族の一員へと、人間との関係性が変化した伴侶動物の代表である犬・猫を中心に、エキゾチックアニマルまでと幅広い生き物が対象の動物系職業は、「心の時代」となった今、そしてこれからに期待される職業であります。

「心を大切に、感謝の気持ちで自然を思い、人と動物の真の共存共生」を教育理念に掲げ、3本の教育方針「専門性の追求」「道徳性・人間性の育成」「動物福祉の実践」を立て、全教職員が一丸となって後ろ姿で見本手本を示し、日本の将来を担うべく“生き抜くチカラ”を備えた学生たちが、立派な動物のプロフェッショナルとなるよう支援しております。

都会の中心で学ぶ環境がシモゾノ学園の大きな利点です。それは最先端の情報を俊敏に取組み教育に活かすことができるからです。

社会の変化に伴い職業教育やキャリア教育の整備・充実が叫ばれる中、成長分野である動物業界において期待される人材育成を果たし、動物業界のみならず日本経済の発展にまで寄与できる人財を輩出する教育の取り組みを責務と考えております。

今後も更なる教育の質の向上を追求し、全教職員が一丸となって教育理念を目指し取り組んで参る所存でございます。

今後とも、一層のご指導ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

平成28年4月

学校法人 シモゾノ学園
理事長 下菌 恵子

2 学園の概要

① 学園の誕生

シモゾノ学園の歴史は、1956年に犬のお店「青山ケンネル」を開業したことに始まる。当時の欧米において、すでに一般的であった犬や動物との生活文化を日本でも普及させることを目的とし、以来60年の歴史を歩む。

人と動物との関係は時代を経るにつれて変化し続け、愛玩動物（ペット）から伴侶動物（パートナー）へと変容を遂げた今日、私たち人間の生活の中で、動物との関係は切り離せないものとなっている。

動物との生活が密接になるにつれ、人間社会で生きる動物の環境を整え、発展させていくことが求められるようになり、動物に関わる専門家=プロフェッショナルの育成がその一助となるべく、1984年、トリマーのための学校「青山ケンネルカレッジ」を開校、1997年には学校法人シモゾノ学園「国際動物専門学校」、2002年には「大宮国際動物専門学校」を開校し、動物職業人の育成に取り組む。

② 教育理念

心を大切に、感謝の気持ちで自然を思い、人と動物の真の共存共生

③ 教育方針

◆専門性の追求

動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人材（財）を育成します。

◆道徳性・人間性の育成

感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人材（財）を育成します。

◆動物福祉の実践

動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し、広く社会に貢献できる人材（財）を育成します。

3 大宮国際動物専門学校の概要

① 学校のあゆみ

- 1956年 港区青山に高級犬販売と日本初の犬のホテルを併設した青山ケンネルを開店
- 1984年4月 青山ケンネルカレッジ東京校開校
- 1997年4月 学校法人シモゾノ学園国際動物専門学校東京都の認可を受け開校
理事長／下藺龍二 就任
学校長／後藤直彰 就任
- 1999年3月 日本小動物獣医師会・認定動物看護師の受験資格認定校となる
日本愛玩動物協会・愛玩動物飼養管理士資格認定校となる
- 2002年4月 学校法人シモゾノ学園大宮国際動物専門学校埼玉県の認可を受け開校
学校長／下藺龍二 就任
- 2003年4月 大宮国際動物専門学校学科新設
- 2004年4月 国際動物専門学校学科新設
- 2005年4月 国際動物専門学校
学校長／本好茂一 就任
大宮国際動物専門学校
学校長／菅野茂 就任
- 2005年5月 学校法人シモゾノ学園
第二代理事長／下藺恵子 就任
- 2009年4月 国際動物専門学校
学校長／下藺恵子 就任
国際動物専門学校学科新設
動物看護・理学療法学科
- 2010年4月 国際動物専門学校学科新設
- 2012年4月 大宮国際動物専門学校
学校長／下藺智一 就任
大宮国際動物専門学校学科新設

2014年3月

職業実践専門課程認定

国際動物専門学校 動物看護・理学療法学科

国際動物専門学校 動物看護・栄養学科

国際動物専門学校 美容・デザイン学科

国際動物専門学校 自然環境・動物飼育学科

国際動物専門学校 しつけ・トレーニング学科

大宮国際動物専門学校 国際海洋・飼育学科

大宮国際動物専門学校 Dog トレーナー学科

2015年2月

職業実践専門課程認定

大宮国際動物専門学校 動物看護・栄養学科

大宮国際動物専門学校 美容・デザイン学科

2016年2月

学習サービス認証 ISO29990 取得

② 学校の所在地

国際動物専門学校本館

〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-3-2

TEL 03(5430)4400 FAX 03(5430)4448

国際動物専門学校1号館

〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-3-2

TEL 03(3418)2091 FAX 03(3418)3393

国際動物専門学校2号館

〒154-0014 東京都世田谷区新町2-1-5

TEL 03(5486)4411 FAX 03(5486)4414

国際動物専門学校3号館

〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-11-13

TEL 03(5706)2201 FAX 03(5706)2203

③ 姉妹校の所在地

大宮国際動物専門学校1号館

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-289-2

TEL 048(648)8400 FAX 048(648)8402

大宮国際動物専門学校2号館

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-170

TEL 048(649)8230 FAX 048(649)8232

大宮国際動物専門学校3号館

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-192

TEL 048(649)7556 FAX 048(648)8444

4 学科の概要

動物看護・理学療法学科

① 学科の概要

動物の神経疾患、整形外科疾患等に対する運動機能回復やリハビリテーションなどを目的とした動物理学療法についての専門的知識やリハビリ技術を習得した動物看護師としての人材を育成する。

② 学生の育成人材像

「動物が健やかな生活支援及び動物医療において生産性をあげることに貢献でき、更に動物理学療法に携わることができる動物看護師」を育成する

- ◆動物が健やかな生活を送ることを支援できる
- ◆動物医療において生産性をあげることに貢献でき、更に動物理学療法に携わることができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・ケーンインリハビリテーションプラクティショナー・アシスタント
- ・動物栄養管理士3級、2級
- ・メディカルグルーマー
- ・アニマルメディカルテクニシャン

動物看護師統一認定機構認定資格

- ・動物看護師統一認定資格

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

④ 卒業後の進路

動物病院、ペットショップ、ペット美容室、実験動物施設、ペットシッター、ブリーダー、ペットフード関連企業、ペット保険会社

動物看護・栄養学科

① 学科の概要

豊富な動物看護実習により、動物病院での基本的な看護技術と各種検査技術を習得、栄養の基礎やペットフードの基礎知識なども身につけます。動物病院でのインターンシップを経て、オペの準備から術後管理など獣医療機関や動物病院で即戦力となれる実践的動物看護師を目指す。

② 学科の育成人材像

「動物の健やかな生活支援及び動物医療において生産性を高める動物看護師」を育成する

- ◆動物が健やかな生活を送ることを支援できる
- ◆動物医療において生産性をあげることに貢献できる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・動物栄養管理士3級、2級
- ・メディカルグルーマー
- ・アニマルメディカルテクニシャン

動物看護師統一認定機構認定資格

- ・動物看護師統一認定資格

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

④ 卒業後の進路

動物病院、ペットショップ、ペット美容室、実験動物施設、ペットシッター、ブリーダー、ペットフード関連企業、ペット保険会社

美容・デザイン学科

① 学科の概要

犬に負担のないグルーミング・トリミング技術を理解し、様々な犬種に合わせて個性を引き出せるカット技術を習得、最新の美容ペットエステやカラーリング技術などのファッションデザイン、また、人とペットとの快適な暮らしが提案できるライフデザインなども学び、ペットショップやペットサロンなどでのインターンシップ実習を通して実践的美容トリマーを目指す。

② 学科の育成人材像

「動物に負担無く、生産性の高いグルーミング・トリミングができる」
トリマーを育成する

- ◆動物に負担無く、生産性の高いグルーミング・トリミングができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・トリマー3級、2級 *ジェントル・トリマーの称号付与
- ・ドッググルーマー
- ・キャットスペシャリスト3級、2級
- ・しつけアドバイザー3級
- ・ケーンインライフプランナー3級、2級

PEIA 認定資格

- ・ペットエステティシャン ブロンズ、シルバー

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

④ 卒業の進路

ペットショップ、ペット美容室、動物病院、ドッグカフェ、ネコカフェ、ペットシッター、ブリーダー、ペットの保育園・幼稚園

自然環境・動物飼育学科

① 学科の概要

魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類などのすべての動物に対する飼育管理や健康管理などの基礎知識を習得、動物園や水族館、牧場などで行う豊富なインターンシップ実習において、実際現場での仕事を体験し、自然環境や動物の野生、動物の飼育について総合的に習得した実践的動物飼育員を目指す。

② 学科の育成人材像

「動物が生息している本来の自然環境を理解し、各種の動物に適した飼育・管理をすることができる人材」を育成する

- ◆動物が生息している本来の自然環境を理解し、各種の動物に適した飼育・管理をすることができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・動物飼育管理士3級、2級
- ・アクアリウムコーディネーター3級、2級
- ・エキゾチックペット・アロマセラピスト
- ・キャットスペシャリスト3級
- ・アニマルメディカルテクニシャン

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

NACS-J 認定資格

- ・自然観察指導員

安全衛生協会認定資格

- ・潜水土

(財) 日本生態系協会認定資格

- ・ビオトープ管理士

(一財) 自然環境研修センター認定資格

- ・生物分類技能検定4級、3級

樹木・環境ネットワーク協会認定資格

- ・グリーンセイバー・ベイシック

④ 卒業後の進路

動物園、サファリパーク、水族館、牧場、実験動物施設、乗馬クラブ、総合ペットショップ、各種動物の専門ショップ、動物病院

しつけ・トレーニング学科

① 学科の概要

担当犬制度を通して、犬との接し方、基礎的なトレーニング技術を習得し、段階的なマナートレーニングやトレーニング学、ドッグスポーツ学、ドッグライフマネージメントなどにより、トレーニング技術や一般家庭における「しつけ」技術を習得した実践的ドッグトレーナーを目指す。

② 学科の育成人材像

「ヒトとイヌの適切な共生関係を築くことを目指したしつけやトレーニングができる人材」を育成する

- ◆ヒトとイヌとの適切な共生関係を築くことを目指したしつけやトレーニングができる
- ◆物おじせずコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる
- ◆社会人としての品格（法律・道徳・マナー）を表現できる
- ◆アニマルウェルフェア（動物福祉）を正しく理解し実践できる
- ◆自らの行動を通して動物福祉を周辺の人たちに啓蒙できる

③ 学科の取得可能な資格

NPO 法人日本動物福祉職能協会認定資格

- ・ドッグトレーナー3級、2級
- ・しつけアドバイザー3級、2級
- ・トリマー3級
- ・ドッググルーマー
- ・キャットスペシャリスト3級

(公社) 日本愛玩動物協会認定資格

- ・愛玩動物飼養管理士2級、1級

日本ペット栄養学会認定資格

- ・日本ペット栄養管理士

PADI 認定資格

- ・スクーバダイビング

④ 卒業後の進路

訓練所、トレーニング施設、しつけ教室、ペットの保育園・幼稚園、ドッグカフェ、ペットシッター、ブリーダー、ペットショップ、ペット美容室、動物病院

5 キャリア教育について

- ・インターンシッププログラムの実施
動物関連の企業実習を通して、プロの現場を体験し、実践力を養っている
- ・「人間力」育成プログラムの実施
就業力養成講座において「7つの習慣 J」を通して、コミュニケーション力を身につけ、自ら考え、人に伝わる力を養っている。
- ・「社会人力」養成プログラムの実施
キャリア支援を実施、職場や地域など社会で活躍するための社会人力を養っている。

6 教育活動

- ・総合臨床実習 <動物看護・理学療法学科、動物看護・栄養学科>
- ・インターンシップ実習 <美容・デザイン学科、自然環境・動物飼育学科、しつけ・トレーニング学科>
- ・JRA 研修旅行 <動物看護・理学療法学科>
- ・QOLA 研修 <動物看護・理学療法学科>
- ・日本臨床フォーラム年次大会 <動物看護・理学療法学科、動物看護・栄養学科>
- ・牧場研修旅行 <動物看護・理学療法学科、動物看護・栄養学科>
- ・日本動物高度医療センター見学 <動物看護・理学療法学科、動物看護・栄養学科>
- ・ペットフード工場見学 <動物看護・理学療法学科、動物看護・栄養学科>
- ・ドッグショー見学 <動物看護・理学療法学科、動物看護・栄養学科、美容・デザイン学科、しつけ・トレーニング学科>>
- ・キャットショー見学 <美容・デザイン学科>
- ・PET - SPA 研修 <美容・デザイン学科>
- ・動物施設研修旅行 <美容・デザイン学科、自然環境・動物飼育学科>
- ・動物園比較研修 <自然環境・動物飼育学科>
- ・水族園比較研修 <自然環境・動物飼育学科>
- ・野川実習 <自然環境・動物飼育学科>
- ・海の実習 <自然環境・動物飼育学科>
- ・カモ調査実習 <自然環境・動物飼育学科>
- ・富良野自然塾研修 <自然環境・動物飼育学科>
- ・乗馬クラブ実習 <自然環境・動物飼育学科>
- ・馬の博物館見学 <自然環境・動物飼育学科>
- ・福田牧場実習 <自然環境・動物飼育学科>
- ・訓練施設研修 <しつけ・トレーニング学科>
- ・トレーニング合宿 <しつけ・トレーニング学科>
- ・やどりき研修 <しつけ・トレーニング学科>
- ・DOG WORKS ZERO 実習 <しつけ・トレーニング学科>
- ・新入生オリエンテーション研修 <1 学年全学科対象>

- ・国内研修旅行 < 2 学年全学科対象 >
- ・海外研修旅行 < 全学科希望者 >
 - アメリカ研修旅行
 - イギリス研修旅行
 - オーストラリア研修旅行
- ・北海道研修旅行 < 全学科希望者 >
- ・沖縄研修旅行 < 全学科希望者 >

7 学生概況

① 学納金

1年次学納金	動物看護・ 理学療法学科	動物看護・ 栄養学科	美容・ デザイン学科	自然環境・ 動物飼育学科	しつけ・ トレーニング学科
入学金	180,000円	180,000円	180,000円	180,000円	180,000円
授業料	500,000円	500,000円	500,000円	500,000円	500,000円
実習費	170,000円	170,000円	170,000円	170,000円	170,000円
施設費	190,000円	190,000円	190,000円	190,000円	190,000円
維持費	146,000円	146,000円	146,000円	146,000円	146,000円
研究費	84,000円	84,000円	84,000円	84,000円	84,000円
飼育管理費	—	—	—	—	60,000円
合計	1,270,000円	1,270,000円	1,270,000円	1,270,000円	1,330,000円

2年次学納金	動物看護・ 理学療法学科	動物看護・ 栄養学科	美容・ デザイン学科	自然環境・ 動物飼育学科	しつけ・ トレーニング学科
授業料	500,000円	500,000円	500,000円	500,000円	500,000円
実習費	214,000円	214,000円	214,000円	214,000円	214,000円
施設費	190,000円	190,000円	190,000円	190,000円	190,000円
維持費	146,000円	146,000円	146,000円	146,000円	146,000円
研究費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
飼育管理費	—	—	—	—	60,000円
合計	1,150,000円	1,150,000円	1,150,000円	1,150,000円	1,210,000円

2年次学納金	動物看護・ 理学療法学科
授業料	500,000円
実習費	214,000円
施設費	190,000円
維持費	146,000円
研究費	100,000円
合計	1,150,000円

② 入学者数

	2014年度	2015年度	2016年度
動物看護・理学療法学科	27名	40名	38名
動物看護・栄養学科	38名	47名	35名
美容・デザイン学科	42名	42名	43名
自然環境・動物飼育学科	48名	46名	45名
しつけ・トレーニング学科	45名	44名	44名
合 計	200名	219名	205名

③ 退学率

	2013年度			2014年度			2015年度		
	在籍者数	退学者数	退学率	在籍者数	退学者数	退学率	在籍者数	退学者数	退学率
動物看護・理学療法学科	117名	5名	4.3%	101名	3名	3.0%	98名	7名	7.1%
動物看護・栄養学科	87名	4名	4.6%	80名	3名	3.7%	83名	3名	3.6%
美容・デザイン学科	76名	6名	7.9%	80名	6名	7.5%	81名	5名	6.2%
自然環境・動物飼育学科	93名	2名	2.2%	96名	2名	2.1%	93名	3名	4.2%
しつけ・トレーニング学科	90名	1名	1.1%	89名	2名	2.2%	88名	1名	1.1%
合 計	463名	18名	3.8%	446名	16名	3.6%	443名	19名	4.3%

④ 進級及び卒業評価判定基準

- ・試験は前期試験、後期試験とする（進級・卒業対象試験）
- ・学科目は100点満点で評価し、70点以上を以って合格とする
- ・1年次実技科目は100点満点で評価し、70点以上を以って合格とする
- ・2年次実技科目は100点満点で評価し、60点以上を以って合格とする
- ・授業時数全体の80%以上の出席を以って受験資格とする

⑤ 教育環境

校舎	構造	校地面積	校舎延床面積
国際動物専門学校本館	鉄筋コンクリート造	267.28 m ²	1290.95 m ²
国際動物専門学校 1号館	鉄骨鉄筋コンクリート造	177.06 m ²	904.52 m ²
国際動物専門学校 2号館	鉄筋コンクリート造	170.97 m ²	607.81 m ²
国際動物専門学校 3号館	鉄筋コンクリート造	187.42 m ²	633.14 m ²
合 計		802.73 m ²	3436.42 m ²

⑥ 就職率

	2013 年度				2014 年度				2015 年度			
	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
動物看護・理学療法学科	38名	36名	33名	92%	38名	36名	36名	100%	32名	30名	30名	100%
動物看護・栄養学科	41名	35名	34名	97%	41名	35名	35名	100%	34名	30名	30名	100%
美容・デザイン学科	32名	32名	29名	91%	32名	32名	31名	97%	37名	35名	28名	80%
自然環境・動物飼育学科	43名	38名	38名	100%	43名	38名	38名	100%	45名	40名	40名	100%
しつけ・トレーニング学科	45名	44名	44名	100%	45名	44名	44名	100%	43名	41名	41名	100%
合 計	199名	185名	178名	96%	199名	185名	184名	99%	191名	172名	169名	98%

※就職率＝就職者数／就職希望者数

⑦ 学生の生活支援、修学支援

生活支援

- ◆担任制
- ◆スクールカウンセラー

学費サポート制度

- ◆シモヅノ学園特待生制度
- ◆下菌龍二記念奨学金制度
- ◆家族入学支援制度
- ◆学費分納制度

公的奨学金制度

- ◆日本学生支援機構奨学金
- ◆東京都育英資金

教育ローン制度

- ◆日本政策金融公庫
- ◆民間教育ローン

8 教職員数

	専任	兼任	合計
動物看護・理学療法学科	16名	2名	18名
動物看護・栄養学科	10名	5名	15名
美容・デザイン学科	9名	4名	13名
国際海洋・飼育学科	4名	6名	10名
Dog トレーナー学科	8名	3名	11名

平成28年5月1日現在

9 学園の財務状況

① 資金収支計算書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(単位 千円)

収入の部		支出の部	
区 分	金 額	区 分	金 額
学生生徒納付金収入	1, 117, 108	人件費支出	639, 907
手数料収入	17, 726	教育研究経費支出	151, 680
補助金収入	2, 199	管理経費支出	203, 973
資産売却収入	0	施設関係支出	44, 963
資産運用収入	543	設備関係支出	36, 131
事業収入	10, 794	借入金等利息支出	4, 963
雑収入	2, 400	借入金等返済支出	30, 000
借入金収入	0	資産運用支出	3, 342
前受金収入	513, 129	その他の支出	457, 329
その他の収入	503, 755	資金支出調整勘定	△36, 040
資金収入調整勘定	△529, 304	次年度繰越支払資金	1, 923, 834
前年度繰越支払資金	1, 821, 732		
収入の部合計	3, 460, 082	支出の部合計	3, 460, 082

② 貸借対照表

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位 千円)

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3, 4 2 0, 7 4 0	固定負債	3 3 9, 1 0 0
有形固定資産	3, 4 0 4, 2 3 0	長期借入金	2 3 5, 0 0 0
土地	1, 7 1 4, 4 8 9	引当金等	7 9, 8 1 2
建物	1, 5 6 4, 5 8 9	その他	2 4, 2 8 8
構築物	1 1, 4 9 1	流動負債	1, 2 3 3, 4 0 8
その他	1 1 3, 6 6 1	前受金	5 1 3, 1 3 0
その他の固定資産	1 6, 5 1 0	その他	6 8 8, 4 2 2
流動資産	2, 6 6 8, 0 2 3		
資産の部合計	6, 0 8 8, 7 6 3	負債の部合計	1, 5 7 2, 5 0 8
		基本金の部	
		第 1 号基本金	4, 1 2 5, 8 4 0
		第 4 号基本金	8 3, 9 3 4
		基本金の部合計	4, 2 0 9, 7 7 4
		消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費収入超過額	3 0 6, 4 8 1
		消費収支差額の合計	3 0 6, 4 8 1
		負債の部 基本金の部 消費収支差額の部合計	6, 0 8 8, 7 6 3